

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: **ダイヤシーラーエポ B 液**
製品種類: 塗料
使用上の制限: 業務用
会社名: シーカ・ジャパン株式会社
住所: 東京都港区元赤坂 1 丁目 2 番 7 号 赤坂 K タワー 7F
電話: 03-6434-7291
緊急連絡先電話: Sika テクニカルセンター 047-436-0811
SDS No.: 035420018 -4

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分に該当しない

急性毒性(経皮): 区分に該当しない

急性毒性(吸入): 区分 4

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 区分 1

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 分類できない

生殖毒性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

誤えん有害性: 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

授乳中の子に害を及ぼすおそれ

臓器の障害(中枢神経系、全身毒性)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(中枢神経系、腎臓、血管系)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
容器を接地する/アースをとる。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。火災を発生しない工具を使用する。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物

化学名 :変性ポリアミドアミン

成分名	含有量(%)	CAS No.
トルエン	60	108-88-3
イソプロピルアルコール	10-20	67-63-0
その他	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、医師の診断を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を拭き取り、水と石けんでよく洗う。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄をつづけること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合

多量の水を飲ませて吐かせる。自発的に嘔吐できる場合は、さらに水を与えて吐かせる。
但し、無理に吐かせようとしてはならない。
被災者に意識がない時は何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。
いずれの場合も、直ちに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護

救助者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

初期火災には、粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

不適切な消火剤

データなし

特有の危険有害性

データなし

特有の消火方法

火災発生場所の周辺への関係者以外の立入りを禁止する。

消火を行う者の保護

消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具等を着用し風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出した場所の周辺への関係者以外の立入りを禁止する。
暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う。
蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。
多量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、漏出したものをすくいとり空容器に回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。
火花を発生しない安全な用具を使用する。
回収物の収納容器は、内容物の処分がすむまで密封しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業する。吸入、接触を避ける。
暴露の危険性が生じる場合には保護具を着用する。よく換気された場所で使用する。
取扱い後は、常に、石鹼水で洗浄する。正しい作業実施法を定め遵守する。
物質で濡れた衣類が浸透し皮膚に接することは避ける。

(火災・爆発の防止)

喫煙、裸火、熱または発火源を避ける。取扱い時には、飲食または喫煙をしないこと。
取扱う場合、スパークしない道具を使用する。不適合物質との接触を避ける。

局所排気、全体換気

取扱う場合は、局所排気装置内または全体換気の設備のある場所で取り扱う。

注意事項

強酸、エポキシ化合物と反応するので、十分注意する。
混合バッチスケールが大きくなるに従って発熱温度も高くなるので、十分注意する。
容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。使用済み容器は一定の場所を定めて集積する。

安全取扱注意事項

作業場の換気を十分行う。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないよう適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業を行う。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
容器を開ける前に内圧を除き、漏れ、溢れ、飛散しない様にし、且つみだりに蒸気を発生させない。
酸との接触を避ける。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

消防法上の引火性液体であるので、消防法等の法規制に従うこと。
容器を密閉して、涼しい所／換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。

避けるべき保管条件

直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。
開封状態での保管。

配合禁忌

消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。
セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。

容器包装材料

他の容器に移し替えてはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(トルエン) 20ppm
(イソプロピルアルコール) 200ppm

許容濃度

(トルエン) 日本産業衛生学会(2021) 50ppm
(イソプロピルアルコール) 日本産業衛生学会(2021) 400ppm

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。
着用すべき手袋の材質: 不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。
この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 黄色透明
臭い : アミン臭
融点/凝固点 : データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : 4.4°C(トルエンの引火点により)
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
粘度 : $\leq 10\text{mPa}\cdot\text{s}(25^\circ\text{C})$
動粘性率 : データなし
溶解度
 水に対する溶解度 : 実質的に不溶
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : $0.875\text{g}/\text{cm}^3(25^\circ\text{C})$
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性
 室温、乾燥状態では安定。
危険有害反応可能性
 強酸、エポキシ化合物と反応し発熱する。
避けるべき条件
 高温加熱、混触危険物質との接触、火源
混触危険物質
 強酸、エポキシ化合物
危険有害な分解生成物
 データなし

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状
急性毒性
 経口毒性 : データなし
 経皮毒性 : データなし
 吸入毒性
 (各成分のデータから算出される混合物の急性毒性推定値から) 区分 4
局所効果
 皮膚腐食性/刺激性成分データ
 (成分の情報から) 区分1
 眼損傷性/眼刺激性成分データ
 (成分の情報から) 区分1
感作性
 皮膚感作性成分データ
 (成分の情報から) 区分1

生殖細胞変異原性 :データなし
催奇形性 :データなし
発がん性 :データなし
生殖毒性
生殖毒性成分データ
(トルエン) 区分1
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性 単回ばく露 成分データ
(トルエン) 区分1
(イソプロピルアルコール) 区分1
特定標的臓器毒性 反復ばく露 成分データ
(トルエン) 区分1
(イソプロピルアルコール) 区分1
誤えん有害性
誤えん有害性成分データ
(トルエン) 区分1

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
(成分の情報から) 水生環境有害性(急性) 区分2、(長期間) 区分3
水生毒性 成分データ
(トルエン) 甲殻類(ブラウンシュリンプ) 96時間EC50=3.5mg/L
(プロピルアルコール) 魚類(ヒメダカ) 96時間LC50>100mg/L
残留性・分解性
(トルエン) BODによる分解度:123%
生体蓄積性
(トルエン) log Kow=2.73
土壌中の移動性 :データなし
オゾン層破壊物質 :データなし
その他情報
その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
環境への放出を避ける。
内容物、容器、内容物が付着したウエスなどの廃棄は、関係法令、地方/国の規則に従って廃棄する。
製品の処分は産業廃棄物処理専門業者に成分を明示して契約を締結すること。
汚染容器及び包装
空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
空容器は製品の残滓が入っているので、製品についての注意事項に従う。
毒性の蒸気やガスが発生するので、容器を電気又はガスによる加熱や溶断してはならない。
空容器は、業者による洗浄と修理をしないで再利用してはならない。
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号 :2733
クラス :3
容器等級 :II

正式品名 : アミン類又はポリアミン類(引火性かつ腐食性のもの)

指針番号 :132

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気厳禁。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当しない

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日以前）

トルエン; イソプロピルアルコール

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日施行分より）

トルエン; イソプロピルアルコール

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

トルエン; イソプロピルアルコール

別表第1 危険物（第1条、第6条、第15条関係）

危険物・引火性もの

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤

トルエン; イソプロピルアルコール

労働省通達基発477号による表示

アミン混合物（変性ポリアミドアミン）

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質: トルエン

消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II 非水溶性液体

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

海洋汚染防止法

有害液体物質(混合物)

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム（独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE）

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上